

## 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会における意見と対応について

- 1 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会について  
秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理に当たり、外部有識者から意見を聴取し、前年度までの実績に関する効果検証と、今後の見直しについて検討する。
- 2 主な意見と市の検討内容および結果について  
秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略および地方創生交付金・地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)活用事業の進捗状況等に対する委員の意見と本市の対応等を整理した。

### 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

No.	意見内容	対応結果	担当部局
1	<p>安心して生み育てられる環境づくりについて、出産後の支援が不足しており、出産から退院までの日数が短く、赤ちゃん訪問が実施されるまでの空白期間が課題と感じる。</p> <p>保育士の人材確保について、社会人向けに保育士養成講座を開催するなど、新たに保育士資格を取得してもらう手法も、発想の一つではないか。</p> <p>放課後児童クラブについて、今後、さらなるニーズの高まりが予想され、指導員の質や遊び場を確保していただきたい。</p>	<p>出産・退院直後の支援として、来年度、産後ケアに係る事業を実施する方向で検討している。</p> <p>社会人向けの保育士養成講座の開設や通信教育への助成等のアイデアについては、今後の施策・事業の参考としたい。</p> <p>放課後児童クラブについては、地域の需要を見極めながら整備を進めることとしている。また、子ども育成課に配置している、小学校校長経験者であるコーディネーターが、各クラブを巡回し相談対応をしており、今後も質の向上について強化していく。</p>	子ども未来部
2	<p>集落営農組織経営体数という指標について、達成が難しいのであれば、次期総合戦略では、事業規模・市場の拡大や、品目の増加等への変更を検討してはどうか。</p>	<p>農業における担い手の確保状況を示す指標として設定した「認定農業者および集落営農組織経営体数」は、法人化が進んだ場合、経営体数が増加する一方で、認定農業者が法人の構成員となって減少することから、次期総合戦略では見直しを行うこととする。</p> <p>新たな指標については、農業経済活動の主体となる意欲ある経営体の確保状況を示す指標として、「農業法人数」および「新規就農者数」の設定を検討したい。</p>	産業振興部
3	<p>秋田犬ふれあい事業について、犬のストレスが溜まらないよう、スペースの狭さを解消してはどうか。</p>	<p>秋田犬ふれあい処の環境については、これまでも様々な意見をいただきながら、改善策を講じてきた。今後も、飼い主と相談しながら、ストレスがかからないような環境を整えていく。</p> <p>なお、ケージを含むスペースについては、秋田犬保存会と協議したうえで、犬にとって落ち着ける広さとしている。</p>	観光文化スポーツ部
4	<p>あきた芸術劇場開館後のスタートアップについて、大型コンベンションは3～4年前から準備に入るケースが多いことから、もう少し積極的に誘致・プロモーションを展開してはどうか。</p>	<p>県と連携して開館準備やプレ事業等を進めていく中で、指定管理者や秋田観光コンベンション協会と連携しながら、コンベンション誘致・プロモーション活動を進めていく。</p>	企画財政部

### 地方創生交付金・地方創生応援税制活用事業について

No.	意見内容	検討内容	担当部局
1	<p>指標とは、達成が無理ではないが、頑張らなければ達成できないものであり、今後、地方創生交付金活用事業の指標を設定する際は、設定する値の妥当性について検討すべきではないか。</p>	<p>他自治体が代表となる連携事業の場合は、コントロールが難しい面もあるが、今後、本市が立案する際には、指標値の妥当性にも配慮しながら、設定を検討していく。</p>	企画財政部